

会 議 録

会 議 名	令和4年度第1回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	<p>1 「介護予防10年の計」の実施状況について(報告)(公開)</p> <p>2 高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)の令和3年度事業実施報告及び令和4年度事業実施計画について(報告)(公開)</p> <p>3 第9期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画(野田市シルバープラン)に係る各種調査の実施について(報告)(公開)</p> <p>4 指定介護予防支援業務の委託について(報告)(非公開)</p> <p>5 地域密着型サービス等(地域密着型通所介護)事業所の指定更新について(報告)(非公開)</p>
日 時	令和4年5月25日(水) 午後1時30分から午後2時30分まで
場 所	市役所高層棟8階 大会議室
出席者氏名	<p>会 長 鈴木 隆一</p> <p>委 員 中林 隆 秋田 茂 古賀 晴美</p> <p> 大用 菜穂子 遠山 康雄 中村 綾子</p> <p> 白島 智子 高森 輝行 山崎 美紀</p> <p> 山名 裕里 岡村 昌夫 須賀田 貞彦</p> <p> 間中 直江 香山 啓 澤田 健次郎</p> <p> 篠田 恵美子 藤井 愛子 森田 邦子</p> <p> 三輪 秀民 鎌田 文彦 鏡 浩美</p> <p> 内藤 公子</p>

	<p>事務局</p> <p>小林 智彦（福祉部長）</p> <p>山口 忠司（高齢者支援課長兼地域包括支援センター長）</p> <p>松井 智生（高齢者支援課長補佐兼計画係長）</p> <p>小沼 綾子（高齢者支援課介護給付係長）</p> <p>中山 理恵（高齢者支援課介護認定係長）</p> <p>田中 道男（高齢者支援課計画係主査）</p> <p>宇佐見 有希（高齢者支援課計画係主任主事）</p> <p>菊原 啓太（高齢者支援課高齢者支援係技師）</p> <p>伊敷 明日香（高齢者支援課地域包括支援センター主事）</p> <p>長濱 俊雄（生活支援課長）</p> <p>伊原 誠宏（障がい者支援課長）</p> <p>池田 亜由美（保健センター長）</p> <p>小島 信明（国保年金課長）</p>
欠席委員氏名	<p>委員 渡邊 隆 豊田 義雄 山中 邦枝</p> <p> 鈴木 剛 宮田 恵美子 柳田 信也</p> <p> 滝本 実和</p>
傍聴者	0名
非公開の事由	地域密着型事業所等の指定等に関して、個人情報に関する箇所があること及び事業所の指定に関して公平な審議を行うため
議事	令和4年度第1回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会の会議結果（概要）は次のとおりである。
鈴木会長	令和4年5月25日 午後1時30分、開会を宣言 委員が自己紹介をした。

<p>高齢者支援課長補佐 兼計画係長</p>	<p>欠席の委員を報告した。 会議録作成のため録音機を使用することを報告するとともに、発言について説明した。 非公開の審議について報告した。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>会議の成立を報告した。 傍聴について説明した。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>議題1「介護予防10年の計」の実施状況について（報告） 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。</p>
<p>白島委員</p>	<p>えんがわに関しては、地域でやっているので参加しやすい、広げやすいと思う。 どうやってPRしていくかについて、ホームページや市報に載せているが、野田市では昔から回覧板が重視されているので、もっと回覧板を活用されたらどうかと提案させていただく。</p>
<p>高齢者支援課長</p>	<p>現在はホームページで案内をしている。高齢者は、市報や回覧板から情報を得ていると考えているので、市報の掲載や回覧板の活用を検討していく。なお、回覧板に関しては自治会と事業の見直し等もしているので、その辺も踏まえて今後検討していく。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>他に質問等を委員に問うた。 質問等なし。</p>

鈴木会長	<p>議題2 高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の令和3年度事業実施報告及び令和4年度事業実施計画について（報告）</p> <p>事務局から報告を受けた。</p> <p>質問等を委員に問うた。</p>
内藤委員	<p>資料の10ページに「基本チェックリストのみで利用する事業対象者はおりませんでした」とあるが、事業対象者の方がチェックリストを使ってサービスを利用していく流れを確認したい。</p>
高齢者支援課地域包括支援センター主事	<p>チェックリストからの流れについては、地域包括支援センターで、まずは総合相談という形で相談を受け、事業対象者に該当する可能性のある方であればチェックリストによる判定をさせていただいて、事業対象者となれば、プランを作りサービスの利用開始という流れとなるが、現状では総合相談の中で介護保険の申請を受け、要支援の認定を受けて支援をしているような状況である。</p>
澤田委員	<p>資料の5ページに各センターがあり、野田市南第1が特に多いということで、何か特別な理由があれば、教えていただきたい。</p>
高齢者支援課長	<p>他の地区に比べて高齢者の人口が多いということが、相談件数の多い一つの理由だと考えている。</p>
白島委員	<p>資料の10ページの表で、各包括で委託をしているの</p>

<p>高齢者支援課長</p>	<p>は何件か教えてほしい。</p> <p>委託している件数については、この表の委託延人数の欄の人数が委託をしている数ということになる。</p>
<p>白島委員</p>	<p>例えば、野田市中央で、サービス利用者数が257で、委託延人数の場合2,400というのはどういうことか。</p>
<p>高齢者支援課長</p>	<p>サービス利用者数257人というのは実人数であり、委託延人数は12か月分ということで計算した件数である。</p>
<p>白島委員</p>	<p>各包括で何件あり、自分のところで何件立てていて、委託しているのが何件と記載した方が分かりやすいと思う。</p> <p>なぜ知りたいかというのと、委託する包括によって、委託のやり方に差がある。丁寧にきちんと委託してくれるところもあれば、そうでないところもある。やはり、その辺の包括のやり方を変えていただきたい、委託されても困らないやり方で、共同してやりたいと思います。</p>
<p>高齢者支援課長</p>	<p>まず数について、御意見の形の方が分かりやすいと思うので、今後このような資料を作る場合にはそういう形で対応していきたいと考えている。</p> <p>委託のやり方については、今後包括の会議等もあるので、こういった御意見があるということをお話していきたいと考えている。</p>

山名委員	<p>令和3年度から包括支援センターが作成したプランの計画費は、市に返還ということになっており、プランを作成したが、その部分の費用を市に返さなくてはならないということになっている。資料の45ページを見ると、センターの運営概要の「4運営財源」の3番目に、このプランの費用が入っているが、この理由を回答いただきたい。</p>
高齢者支援課長	<p>この運営財源については、各地区の包括の運営財源ということだけではなくて、介護保険の地域包括支援センターという業務全体の運営財源ということで書いている。</p>
白島委員	<p>ICTに関して、近隣の市町村では、それぞれの連携ツールとしてICTを、行政で活用している。野田市でも、事業者協議会等で話を進めているので、来年からどうするのかということを進めていただければと思うのでよろしく願います。</p>
高齢者支援課長	<p>ICTの活用について、市でも今年度課題としてとらえており、今後、いろいろな状況等を確認しながら、検討を進めていきたいと考えている。</p>
鈴木会長	<p>他に質問等を委員に問うた。 質問等なし。</p>
鈴木会長	<p>議題3第9期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画（野田市シルバープラン）に係る各種調査の実施</p>

	<p>について（報告）</p> <p>事務局から報告を受けた。</p> <p>質問等を委員に問うた。</p> <p>質問等なし。</p> <p>議題 4 及び議題 5 は、野田市情報公開条例に基づき 非公開</p> <p>午後 2 時 30 分、閉会を宣言</p>
--	--